資料２町内小中学校の児童生徒数等の現状（R8.8.31 現在）

学校名	児童・生徒数																					学級数	教職員数
	1年			2年			3年			4年			5年			6年			計			（ ）特支	（ ）定数
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計 ( )特支		
蚕桑小	6	4	10	2	8	10	5	5	10	6	11	17	7	8	15	10	7	17	36	43	79 (9)	8 (2)	18 (13)
鮎貝小	7	9	16	6	7	13	12	5	17	11	9	20	13	9	22	13	6	19	62	45	107 (10)	9 (3)	21 (14)
荒砥小	16	10	26	19	14	33	9	19	28	13	12	25	15	12	27	16	20	36	88	87	175 (8)	9 (2)	25 (16)
東根小	6	4	10	9	8	17	3	4	7	9	8	17	7	9	16	5	7	12	39	40	79 (7)	8 (2)	19 (13)
小学校計	28	27	62	36	37	73	29	33	62	39	40	79	42	38	80	44	40	84	225	215	440 (34)	34 (9)	
白鷹中	50	33	83	64	46	110	47	50	97										161	129	290 (10)	10 (3)	34 (25)

※特支の学級数は内数

学校教育法施行規則　第４１条
小学校の学級数は、１２学級以上１８学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情があるときは、この限りでない。

◇町内４小学校については、荒砥小６年生が２学級以外は、全て単学級。
◇学年間の人数、各学級の男女の人数に偏りが見られる状況。
◇１学年の人数が１桁も見られる。
◇児童・生徒数減少により、委員会活動やクラブ活動、部活動等で組織や活動の見直しを図っている学校が多い。

学校と地域のかかわり
◇令和３年より町内各学校で「学校運営協議会」を設置し、年３回開催している。テーマを決めて「熟議」し、話し合いの結果を学校運営に反映することで「地域と共にある学校」づくりを進めている。
◇各学校で特色ある教育活動として地域学習に取り組んでいる。子供たちの地域理解と郷土愛醸成につながっている。